

特集「身近な木を使う」の感想

- 森林守ろうと思った。(高知市・11歳)
- 将来、建築の勉強をして、木を使った建物を作りたいと思っているので勉強になった。環境のことも書かれていて、いいと思った。(香美市・15歳)
- 県産材は手に入りにくいと思いこんでいたが、そんなことはないのがわかった。木の香りは落ち着きます。大好きです。(高知市・14歳)
- 森林を大切にすることが分かりました。そして、自然のものを使うとエコでいいなと思いました。自然のものはいいなと思ったし、私は木で作ったものが好きなので、エコで自然でいいと思います。(土佐市・10歳)
- 木を育てて使って森林の循環を作ることがSDGsにも貢献しているということで、木にはすごい力があるということに改めて感じた。(高知市・11歳)
- 木とは、とても身近なものですが、そのすごい力や良さはあまり詳しく知らなかったので、話題の“SDGs”にも貢献していることなど、改めて勉強になりました。(高知市・37歳)
- 今号を読んで、環境に良い木材を使って、家を建てるのがSDGsになるんだと分かった。とても木は大切な資源であり、みんな大切にしなければならないですね。(四万十町・63歳)
- 森林は、二酸化炭素を吸収して地球を守っていることを知りました。もっと森林の力などについて調べてみたいです。(高知市・10歳)
- 地元の木材を活用することが大事だと思った。(高知市・49歳)
- いろいろな木の活用法があること、再生産できること、資材を使えば補助金が下りることがあるなど、とても興味深い内容でした。(高知市・29歳)
- 本当の森林に戻さなくても、木材をたくさん使った町に変えていけば、森林と同じ効果があるということは知らなかったの、とても驚きました。まだまだ森林環境について知らないことだらけなので、これからも『もりりん』を読んで勉強したい。(高知市・41歳)
- 環境に優しいのは勿論の事、木の温もりは人にも優しく、森林の事を考える良い本だと思います。子どもには少しでも良い環境を残したいと考えているので、木材をたくさん使った町づくりというのはとても魅力を感じます。(佐川町・25歳)
- 『土佐材産地見学ツアー』を初めて知りました。とても素敵な取り組みだと思います。(安芸市・59歳)
- 『おしえて！マモルン』のような漫画やイラストの多い記事だと、読んでみようかなという気持ちになります。家を建てる予定はまだありませんが、梶原町森林組合の見学ツアーのようなものを、子どもたちに見せてあげたいと思いました。(香南市・22歳)
- 土佐材産地見学ツアーのことは知りませんでしたが、すごく良いツアーですね。興味をもちました。木は本当に落ち着くし、癒されます。県産材の消費に、もっと積極的に少しずつ協力していきたいなと思いました。(高知市・45歳)
- 初めてじっくり読みました。土佐材産地見学ツアーというものを行なっていることを初めて知り、とても興味深かったです。(高知市・34歳)
- 我が家のルーツを知れることは、とても良いこと、良い取組みだと感じました。愛着がより深くなるだけ

ではなく、知ることは大切だと思います。食だけでなく、地産地消できる家づくりは素敵ですね。(高知市・36歳)

●今こそ、木が見直されるべきだと思った(高知市・39歳)

●木の香りは、癒されるので本当に大好きです。いつかマイホームを建てる時は、県産木材でと思っています。その前に、子ども達に積み木を買いました。もちろん高知県のものです。一緒に遊びながら癒されています。(南国市・36歳)

●5歳の息子と「どうして木がいい？木だとどう？」と一緒に考えている時間が楽しいです。「僕も木のスプーンにする！」と言っています。(高知市・32歳)

●木が好きです。香りも好きです。癒やされます。木のお箸やスプーン、弁当箱が欲しくなりました。(日高村・39歳)

●『おしえて！マモルン』のページのように、身近なものを木にしたらいいけど、割と高額です。本当はバッグも欲しいけど…最近やっと名刺入れを木製にしました。最近生まれた友達のお孫ちゃんにも木のおもちゃをプレゼントします。(高知市・67歳)

●P7の木のベンチ、最高ですね。完成品を持ち帰るのがたいへんそうなので、ベンチのキットがあればいいなと思いました。(高知市・53歳)

●イラストがかわいいです。漫画のページに、難しい話が分かりやすく書かれていて良かったです。(高知市・10歳)

●漫画だとわかりやすく見やすかった！(高知市・63歳)

●この間、1円玉と5円玉がたくさん見つかったので、緑の募金に寄付しました。スーパーで気軽に寄付できるので嬉しい。『もっともっと木を使おう！』で木の再利用のメリットや木材を使った町の良さについてよく理解できました。『もりりん』は森林について勉強できる良いきっかけになっています。mamoriの頃から読んでいます。(土佐市・34歳)

●『身近な木を使う』という特集テーマがよかったです。森林率が高い高知県の長を、良さと捉えて活かすための工夫がたくさん示されています。ツリーハウスの特集も、見ていて楽しいです。森林環境税の使いみちの上位に、シカ被害対策があるのが驚きでした。(高知市・49歳)

●二酸化炭素など、いろいろ分かりやすくプラスチックは良くないとわかりました。『もりりん』は、自由研究にも使えていいなと思いました。(高知市・10歳)

●プラスチックごみ増加によって環境問題が危惧されている今、木の需要が高まりそうと思った他、木を生活に取り入れたいと思いました。(佐川町・24歳)

●今私たちに直面している森林問題、プラスチック問題について、ニュースなどで聞いていたものの、あまりピンと来ていなかった。今回の冊子を見て、より興味を引くようになったので、とてもいいものだと思います(高知市・25歳)

●ひと昔前は、割り箸が今のプラスチックの袋のようにダメだと言われていましたが、伐採は森のためにも良いことだということを、まずみんなに教えないといけないと思います。きっとビニール袋もそういう意味で、現在悪者にされているものだと思います。表面的なエコロジーではなく、正しい理解に基づいて、これからもこのような雑誌を作っていただきたいと思います。(南国市・51歳)

●今回、初めてしっかり読ませていただきました。海にゴミが増えているということは漠然と知ってはいましたが、ジャンボジェット機5万機分だと知り、危機感を覚えました。世界中の人間が、少しでもゴミを減らそうという意識を持ち、地球を労わることができたらと思いました。(香南市・33歳)

●森林環境税という税金を本誌で初めて知りました。木が好きで、ツリーハウスの表紙が気になり開きましたが、プラスチックを木に変えていこう！という考えにも、感銘を受けました。あまりプラスチックを使ってないつもりではいましたが、お弁当箱などはプラスチックでした。木に変えていきたい、高知県産の木で出来た物を使いたいと思いましたし、出来れば、お弁当箱作りなど、子どもと一緒に参加できるワークショップがあればなと思いました。素敵な読み物でした。これからも楽しみにしています。ありがとうございます。(いの町・40歳)

●森林が宝の山となれば良いなと思いました。(越知町・53歳)

●以前ある方に「腐る家がいい」という話を聞き、衝撃を受けたことがあります。自然の中にあるものに感謝し、使わせていただいたら自然に返すという循環ってとても大切なことだけどごく自然なことだと思えます。『もりりん』のようなフリーペーパーで少しでも自然の営みに目を向けられる方が増えるといいなと思えます。(芸西村・33歳)

●木はいずれ腐ったり破損したりしますが、土に戻るエコな素材という言葉に、木の魅力はこれからの生活で大切になってくると感じました。森、そして木や植物がなくなってしまうと、私たち人は生活ができなくなってしまうので、限りある資源を大切にしたいです。(宿毛市・34歳)

●7月の早朝に放送されたNHK ラジオ深夜便で、木を

使った家が人間の体に良い影響を与えることを研究している男性の話を聞きました。もっと木の家が増え、日本人の情緒を平安にする文化にかえっていかなくてはと思いました。(高知市・62歳)

●かわいいイラストや漫画で、木のことを分かりやすく理解できます。木はみんな好きだけど、知れば知るほど本当に奥が深いですね。国産材や外国の材(輸入材)について知りたいです。ウッドショックという言葉も出てきましたし、これからの日本の森林がどのようになっていくか、危機感を持てるような内容も、分かりやすく『もりりん』で取り上げてほしいです。(仁淀川町・32歳)

●ウッドショックの中、高品質の建材の良さを考えさせられました。やはり木が良いですね。木に宿るぬくもりと安心感を息子たちにも感じてもらい、伝えていきたいと思いました。森林環境税が総額2億円に近いことには驚きました。(四万十町・37歳)

●そろそろ自分で建てた家に住みたい！(高知市・41歳)

●私も、高知県の森林を使って家を建てたいです。(宿毛市・54歳)

●今回、もっともっと木を使おうというテーマがありましたが、職場では森林を守るためにとペーパーレスを推奨されています。矛盾しているようにも思うのですが、何か理由があるのですよね。いつか取り上げていただけたら嬉しいです。(香美市・46歳)

●大本の部分は多々利用しているのは分かりますが、小さい枝などの部分は利用出来るのでしょうか。もし出来るのなら、どんな物になりますか。(高知市・71歳)

「木の家が持つ魅力をチェック。」の感想

●建築や間取りに興味があり、木材の持つあたたかい雰囲気も好きなので、いつも興味深く読ませて頂いています。(高知市・14歳)

●いつも楽しく拝読しています。今回の県産木材を使ったお家がとても素敵でした。もっといろいろな木造住宅の内装を見たいです。(高知市・42歳)

●今後、増築リフォームを考えているため、補助金や実際に補助を受けた人の話を知れたのは良かった。(香美市・27歳)

●補助金の要件や、補助額が記載してあるのは参考になった。(高知市・30歳)

●木質感あふれるおうちに魅了されました。ちょうど戸建の建築計画中なので、我が家にもたくさん木材を使用し、リラックスできる家づくりをしたいと思いました。高知県の補助金情報も載っていて、知ることができてよかったです。(本山町・28歳)

●実際に県産材を使用してマイホームを建て、補助金を受け取りました。補助金の制度があることが、現在の森林の問題について知るキッカケになりました。実際に高知の木に囲まれて生活して約1年になりますが、本当に落ち着く空間です。素晴らしい制度だと思うので、沢山の人ももっともっと伝わるといいなと思います。(高知市・年齢無回答)

●高知県で家を建てると、補助金がたくさん出ることにビックリしました。P8~9のような素敵な家にすごく憧れます。子育て加算も嬉しいですね。(埼玉県・37歳)

●『もりりん』という名称が素敵です。森林をまもり育てることの大切さを、『もりりん』で多くの人々に知

らせることができていると思っています。森林環境税を納めているということも、改めて自覚させられました。よく分かりませんが、公共的施設以外の場合にも、県産木材を使用する場合に補助金などはありますか。(高知市・67歳)

●県産材の県内消費量は3割弱という文章を見つけました。特に何にどう使われていて、そして、県としてはこういったことにもっと使用を進めていきたい、一般人で県内消費量の底上げにどう参加できるのを知りたいです。一般人で、県内産乾燥木材を新築に使用しても、他の補助金との兼ね合いで補助金申請が出来ないパターンもありますし、県内での消費にどう繋がっているのか分かりません。(高知市)

●小さな子どもがいることもあり、一軒家を建てたいと考えています。そんな時に『もりりん』をパラっと見ると、木の家がもつ魅力の写真があり、すごく温かみを感じるいい家だなと思いました。実際に建てている方の意見を聞くこともでき、すごく参考になりました。将来、家を建てる時は、地球にも家族にも優しい県産材を使った家ができたらいいなと思いました。(佐川町・23歳)

●木材が高騰している昨今では、マイホームはまだ先かなと諦めていました。こちらの記事を読ませていただき、高知県産の木材で家を建てるのができたら素晴らしいことだと思いました。高知のスギやヒノキのぬくもりに包まれた生活を想像するだけで夢が膨らみます。素敵な記事をありがとうございました。(高知市・42歳)

●最近、マイホーム計画を始めようとしていたところ、子どもの保育所から配られた『もりりん』に深く興味をもち、読んでみました。元々、木材が使われた家に憧れていたのですが、更に素敵に感じ、そして高知の木を使ってみたいと思いました。(安芸市・34歳)



- 木の家に住んでいます。もっと木の家の良さをたくさんの人に知ってもらいたいです。(土佐市・39歳)
- いずれは家を建てなければならないので、温かみのある木の家についての記事を見て、こんな家に住んでみたいと魅力を感じました。子どもがまだ小さいときに、木のスプーンづくりをさせていただきました。使うたびに良い味が出てきて、愛着が湧いたのを思い出しました。家だと、もっと愛着が湧きそう。次号も楽しみにしています。(越知町・34歳)
- 全国一の森林率84%を誇っている高知県はすごい。その木を使った家はいい。『木の家』は木に囲まれてリラックスでき、居心地が良さそう。県産材の家に住んでみたいなあ。(高知市・53歳)
- せっかく森林保有率1番の県に住んでいるので、この本のように木材を使った家に住んでみたいと考え、参考にさせていただいています。(高知市・39歳)
- 最近家をリフォームしました。木の匂いがなんとも言えない安らぎです。今は木材が高くなっていますが、リフォームして良かったと感じています。(須崎市・49歳)
- 『家族が幸せに満たされる家』にあこがれます。県産のヒノキやスギを使用した居心地のいい空間、お家時間が楽しみで、帰り道がルンルンのマイホームを、いつか建てるのが夢です。森林環境税は、森林率84%を誇る高知県民にとっては、最も抵抗なく納められる、払い甲斐のある税金だと思います。(高知市・55歳)
- 木の魅力について書かれていて、こんな家に住みたいと思いました。(土佐市・35歳)
- 木の家の記事が良かったです。家を建てる時の参考にします。木のぬくもりのある家に憧れました。(香南市・48歳)
- 高知県の木材を使っての家は素敵ですね。木の香りに包まれてリラックス出来そう。気持ちも優しくなれますね。(高知市・65歳)
- 『木の家が持つ魅力をチェック』のページの、木を使っての家づくりは本当にうらやましいと思います。ぬくもりや、木の匂いを感じながらの生活が本当にうらやましい。(香美市・50歳)
- 『家族が幸せに満たされる家』のページは、木の香りが届いてきそうな内容でした。(高知市・43歳)
- 木の家の写真を見て、とても素敵で、私もこのようなぬくもりのある家に住んでみたいと思いました。外で悲しいことや辛いことがあっても、家に帰ると癒される。そんな木の家は心を守ってくれるような安心感があります。(佐川町・36歳)
- 『家族が幸せに満たされる家』を読ませていただいて、とてもうらやましく思いました。やっぱり、木の温もりを感じられる家はいいですね。(香美市・65歳)
- 『家族が幸せに満たされる家』がたくさん木に囲まれていて素敵だなと思いました。イベントなども載っていて、よかったです。(南国市・39歳)
- 木の家や家具に興味があり、見るのが楽しみです。(高知市・57歳)

「ツリーハウスを作ろう！」の感想

●僕は初めて『もりりん』をじっくり読んで、木に関する興味をもちました。僕もツリーハウスを友達と夏休みに作ろうと思います。木っておもしろい！（中土佐町・14歳）

●子どもがツリーハウスに興味津々で、いつか体験できたらいいねと話しながら読みました。（高知市・39歳）

●ツリーハウスは、子どもたちが小さい頃、宿泊を兼ねて訪れたかったのですが、数が少なくタイミングも合わず、行けず終いでした。宿泊はできないにしろ、体験施設が増え、気軽に行けるようになると、今後は担う子どもたちが、高知の森林循環に興味を持ってくれるかもしれません。（高知市・49歳）

●高知県立森林研修センター情報交流館が行っていたツリーハウスづくりに、小学生の息子が興味を持っていました。小学生は無理でも、対象年齢を中高生以上も対象にしたツリーハウス作りの企画などがあれば参加したいです。（高知市・45歳）

●ツリーハウスが凄く魅力的でした！子どもに体験して欲しいです。（北川村・39歳）

●ツリーハウスは秘密基地があって大人もワクワクします。実家には山もあるのに…作りたかったなあ。今からでも挑戦したい。（高知市・60歳）

●庭にツリーハウスを造りたいので、また同じ企画があれば講習を受けたいです。（高知市・39歳）

●木の温かみが伝わってきて、私も参加してみたいと感じました。（日高村・36歳）

●何度もキャンプに行っている甫喜ヶ峰森林公園で、

先月初めてツリーハウスがある場所を発見しました。道路を渡った所なので、見にくいのですが…。もっと分かりやすく案内があればと思いました。ツリーハウスを含め、周辺散策は、なかなか楽しかったです。（高知市・46歳）

●表紙が素敵でした。（高知市・29歳）

●表紙を見て、思わず手に取っていました。素晴らしい活動をされていると思います。（愛媛県・53歳）

●表紙が素敵でした。ツリーハウスは夢です。記事が読みやすく分かりやすかったです。孫と、読プレの北川村ゆずの宿で会話が弾みました。（徳島県・68歳）

●ツリーハウス作りに人手が減少している中での、浜氏さんの活動に共感を受けました。リフォームを考えているのですが、もう少し補助制度が緩和されると、もっと木材の利用も増すのではないかと思います。（香美市・40歳）

●いつもワクワクしながら読ませていただいています。今回のツリーハウスのようなモノづくりに関する特集をお願いします。（南国市・40歳）

●ツリーハウスは良いですね。子どもの頃、基地として木の上に作ったことが、懐かしい思い出です。今の子どもは、パソコン・ゲームで家の中で遊ぶようになり、物づくりが少なくなっていました。（高知市・61歳）

●いつも楽しく見ています。ツリーハウスは可愛くて楽しそうだなって思いました。（安芸市・35歳）

●山が身近な高知に住んでいて、森の中にツリーハウスや遊び場がある環境が素敵だなと思いました。（大川村・36歳）

「もりりん」について

- 森林の勉強になる。(中土佐町・7歳)
- 小学校、中学校と学校でもらっていたので、懐かしくて手に取り読んでしまいました。小さい頃は情報交流館や甫喜ヶ峰へ連れて行ってもらっていましたが、最近行ってないので、また遊びに行きたいと思いました。(香美市・16歳)
- いつも、表紙の写真がいいなあと思って手にとっています。(高知市・43歳)
- 写真やイラストが多く、読みやすかった。(香美市・70歳)
- 普段触れることのない分野なので、楽しく拝見しています。(日高村・42歳)
- 木をおしゃれに魅力的に紹介しているので手に取っています(四万十町・84歳)
- 身近と思っていても、意外と知らない取り組みやイベントがあって、発見があります。(梶原町・35歳)
- 普段はまったく木に触れる機会がないのですが、本誌を見て、木に触れ、木の匂いを感じたくなりました。(安芸市・27歳)
- 『もりりん』を見るたび、山に行きたくなります。高知の豊かな緑を大切にしたいと思います。(四万十市・47歳)
- いつも楽しく子供と拝読しております。幼児には少し難しい内容もありますが、「これはどういうこと？」と色々なものに興味を持ち、親子で話す会話の幅が広がり感謝しております。(南国市・34歳)
- 『おしえて！マモルン』のページは、文章だけでなく漫画になっていたのがとても読みやすくて分かりやすくてスッと頭に入り、良かったです。ページ下の豆知識的な一言も面白い。(高知市・37歳)
- 高知県の取り組みが分かりやすいように、誌面作りがされている。子ども達にも分かりやすい誌面になっていて、いいと思う。(香南市・56歳)
- 僕は山が好きで、山登りをしているし、家は高知県の木をたくさん使っているの、森林や木に興味があります。あと、僕は文房具が好きで、他県で作られた木のボールペンを持っていて愛用しているのですが、読者プレゼントのところに、高知県の木のボールペン・シャープペンが載っていて、高知でも作られているんだと、すごくびっくりしました。嬉しかったです。(香美市・17歳)
- 木を使った製品について、具体的な商品の紹介や販売店の紹介があるといい。また、プレゼントになっている商品についての紹介ページがあると、プレゼントに応募するきっかけになり、販売店がわかれば応募でなく購入を検討もできる。(高知市・年齢無回答)
- プレゼントの人数がもう少し多いと嬉しいです。(南国市・60歳)
- イベントをもっと大きく載せてほしいです。写真とかもあれば、子どもが見てもっと分かりやすいと思います。(香南市・44歳)
- 木を使った素敵な家や、遊具をどんどん掲載してほしいです。(高知市・56歳)
- 森林について知る機会はほとんどないので、情報発信を続けていただきたいです。(中土佐町・52歳)

森林環境税について

●いつも楽しみにしています。森林環境税について、ぜひまた教えて下さい。本当に一部のことでいいので、具体的に、仕事の写真など見たいです。(中土佐町・38歳)

●森林環境税がどういった事に使われているのか、もっと情報発信してもらいたい。(高知市・34歳)

●貴誌で、森林環境税というものがあること、それを私たち一人一人が担っていることを初めて知り、また過日の高知新聞の記事でも読み、とても興味深いです。本件での用途を具体的にもっと伝えてほしいです。(高知市・37歳)

●『もりりん』を読んで、高知県は森林率日本一だと初めて知りました。森林環境税についても、日本で初めて県民が1人500円払っていることを知りました。高知県民は、もっと森林のことを知らなくてははいけないと思いました。もっと広くもりりんを配ってください。(高知市・13歳)

●高知県にとって、森林環境税は必須で、森林資源保全は急務です。本誌により、森林資源が高知県の大きな財産であることが啓蒙されています。ますます発展的に継続発刊してください。(高知市・62歳)

●森林環境税が導入され、今年で20年目になるそうですね。山の整備や教育などに有効活用されていると思いますが、各自治体で具体的にどのように活用され、効果があるのか、広報されるとより身近に制度が感じられるのではないかと思います。山や自然が大好きなので、守っていききたいと思います。(黒潮町)

●木の家に憧れながら、実現できないままですが、木の家の見学会や様々なワークショップが好きなので、そういった情報を知りたいです。森林環境税は国より

早く始め、とてもよい制度だと思いましたが、国が始めた今、それぞれの使い方や効果の違いがわからないと重複の負担感が残ると思います。(高知市・57歳)

●環境税は1000円かと思っていたが、高知県は県民税+500円という表現なんだと思いました(高知市・46歳)

●県民税に上乘せされている事を初めて知りました。大切な木を守ってもらいたいと思います。(高知市・41歳)

●毎回、楽しく読ませていただいています。森林環境税で、シカ被害対策に20.2%が使われているということには驚かされました。私の住んでいる地域ではイノシシ・猿被害が多く、花火で対策しています。保育所で栽培している野菜も収穫寸前に猿に食べられ、子ども達も悔しい思いをしています。野生の生き物が人間の居住エリアに侵出してきたのも、いろいろな環境の変化かもしれませんね。(土佐町・53歳)

●保健休養やレクリエーションなどの、より身近に森林と触れ合う事業に税金を使ってほしい。特集『森から生まれるマイホーム』は読み応えがあり、県産材を使う意欲がわいてきた。家の補修に県産材を使うようにしたい。(香南市・66歳)

●香美市物部町に山林を所有しているため、環境税の使い方に関心があります。森林の整備などに使ってほしいと思っています。(香美市・83歳)

●高知県は森林が多いため、木材を県外に売り、高知県に活気が生まれる。ただ、シカやイノシシなどの動物が農作物の被害の原因となっているため、森林環境税にシカ被害対策に20%使うのはいいことだと思う。(高知市・12歳)

●表紙のツリーハウスの、みんなの笑顔がいい。森林



環境税について、細かく明記してあることがいい。なかでも、シカ被害対策費に20%使われていることが理解できた。今後も希少野生植物を守り続けてほしい。

(高知市・44歳)

●イラストも多くて、難しい内容も分かりやすく知ることができて嬉しいです。森林環境税のことは知らなかったけど、これを読んでいろんな大切なところで使われていると知りました。(高知市・14歳)

●森林環境税はバランスのとれた配分、利用だと思いました。森林面積が多い高知県だからこそ、森林環境教育を通じて次世代の子ども達の理解促進にさらなる投資をすべきとも思いました。貴誌は、森林を身近に感じるができるフリーペーパーだと思いました。これからも高知の森林について、広く知ってもらえる内容に期待しています。(高知市・42歳)

●この雑誌を毎回見るようになってから、森林環境税に目を向けるようになりました。(いの町・32歳)

●県土の80%以上が森林という環境に生まれながら、実際のところ、森林環境税や森林そのものについてよく知りませんでした。『もりりん』を読むようになって、初めて知ることが沢山あって勉強になります。(佐川町・42歳)

●お恥ずかしながら、森林環境税たるものを、こちらのフリーペーパーで知りました。森との関わりを認識し、森を守る制度は素敵です。微力ながら力になれていることが嬉しくなりました。(高知市・37歳)

●森林環境税を有益に使ってほしい。(高知市・56歳)

●森林環境税は、持続可能な未来へつながる森林のために、有意義に使ってほしいですね。(香美市・48歳)

●森の県、高知が大好きです。自然の中で遊び生活することは幸せだと思います。森林環境税という500円のお金も、大事な森のために使ってほしいです。(須崎市・75歳)

●身近にある森や林は、当たり前存在しているわけではないんだなあ。とても有難いもので、そのために納めた税金を有効利用してもらえたら、働き甲斐もあるなあと思います。高知がいつまでも緑ゆたかでありますように。(高知市・32歳)

●県の特徴である森林に着目したフリーペーパーは非常に重要だと思っています。子ども達の意識にも良い影響を与えたいと思います。森林環境税は、森林の維持管理のため、必要なものだと思います。(いの町・41歳)

●森林環境税については、必要な税だと思います。普段、私たちは当たり前自然と共に生活していますが、森を守る活動がなされているからこそ豊かな自然があり、住みやすい町になっていると思うため、今後も継続する必要があると思います。このような冊子がある事で、大人である自分も知らないことを知ることができ、子どもにも伝える機会にもなり、役立っています。(香美市・31歳)

●税金は難しくてわからないことが多いけど、森のためやみんなのために使われているのなら、必要な税だと思います。(南国市・39歳)

●森林環境税はとてもいい。庭にも木を植えて楽しむことができましたが、木も人間も年をとりました。世話ができず、1本、2本と業者に切ってもらっています。「今までありがとう」と感謝をして…でも寂しい。けど仕方ない、と諦めています。(高知市・77歳)

意見・要望等

- ユーチューブの動画編集にもう少し力を入れてください。個性的なナレーターなどを登場させると、何度観ても飽きない動画ができます。森林保全や改善のためにも頑張ってください。応援しています。(香美市・13歳)
- 学校の学習にも取り入れてほしい。子ども達が理解するために、この本誌は分かりやすく良いと思うので、この誌を使い、学ぶ、考える、行動する(見学等)するようにできればいいと思う。(四万十市・30歳)
- 学校現場等へ出張(出前)教室によって木についての知識や関心を広めているのは継続してほしいと思います。(いの町・62歳)
- 森を守るためなので、良いことだと思います。自分も森林環境の仕事に就けたらと思っています。(黒潮町・16歳)
- やはり林業大学校の存在は、県政にとって大きな強みだと思います。(高知市・32歳)
- 8月に富士山に初めて登山しました。山の魅力に改めて気づきましたが、その山を守るために様々な施策を、これからもお願いします。若い人が林業に従事することをサポートしてください。(南国市・62歳)
- 森林を整備することで私たちの暮らしにどのような影響があるのか学びたいです。また、間伐材を使った自分のための弁当箱やテーブル作りなど、身近なものづくり体験ができればいいなと思います。(香美市・47歳)
- 工作教室などは親子に喜ばれるので、たくさんあったらいいと思います。(土佐市・54歳)
- 高知は森林が多いが、手入れの行き届いていない場所もたくさんあるので、そういう話が分かりやすく説明してもらえると良いかと思います。(南国市・54歳)
- 県木材がふんだんに使われている建物や施設を回るツアーを作って欲しい。(南国市)
- 自転車やランニングで林道を駆けることが趣味である私は、毎週のように林道に入ります。東京から嫁いで20年経ちますが、高知の山の深さに感嘆し、とりこになっています。高知には、隣県のスーパー林道を凌駕する林道が数多くあります。私は国土地理院の地図から林道を見つける訳ですが、徳島林道ナビのような、公式な林道マップがあればいいと感じます。ランニングやサイクリングを楽しむ人は増えているので、町ランに飽きた人に、山ランの楽しさと高知の山林の素晴らしさを伝えたいです。(いの町・44歳)
- 森林研修センターには、子ども達とよく遊びに行くのですが、ものすごく良いところなのにあまり知られていないと思います。小さい頃から木に触れて、自然と共に暮らすことのメリットは、とても大きいと思うので、もっともっと多くの人達に、まずは知ってもらうことが大切かなと思います。(香美市・35歳)
- 今夏初めて土佐山田の森林センターに遊びに行きました!本棚を作ったり、木のおもちゃで遊んだり、木とたくさん触れ合える場所があって嬉しいです。自宅もスギとヒノキの無垢材を使っています。気持ちいいです!(高知市・42歳)
- 森林研修センターでは、子どもが遊びながら木に触れられるので気に入っています。木に触れられる施設や公園の整備に税金を充てて欲しいです。(高知市・32歳)
- もっと身近に遊びに行ける、木材アスレチックや虫取り等が出来る場が増えると、森林への興味が子ども

達にも深まると思います。高知市からだど、なかなか幼児連れで安心して行ける場所が少なくて『もりりん』を読むたびに思います。(高知市・53歳)

●高知県は森林が多く、子育てをするに当たって、とても良い場所だと改めて感じています。もうすぐ2才になる子どもがいるので、小さな子どもでも自然と関わることができる場所があれば教えてほしいです。(高知市・28歳)

●子どもと一緒に自然(森林、川、海)を体感できるスポットの紹介など期待します。(高知市・45歳)

●イベントなどで、大人も子どもも森の楽しさや気持ち良さを知ってほしい。高知の森を大切にすれば、風通しよく、キレイな川、海になる。高齢化で山の整備が出来なくなった方々の間伐を手伝ってやってほしい。(香南市・67歳)

●こうち森林救援隊等の活動に、もう少し参加しやすい方法はないものか。山間部に住んでいて、山も所有していても、活用や育て方、整備の仕方が分からない。また、高齢化が進み、その土地を離れるしかなく、荒れているところが多い。(高知市・50歳)

●主人と結婚してから、山を守ることが日常にある生活を見られるようになりました。山を保有し農家をしている両親の日常は感慨深く、高知に住んでいるとはいえ、パソコンメインに仕事をしている生活では、触れることのない森林について知ることができます。わたしたちの日常を見て育っていく子どもに、親がどうしていくべきか考えるきっかけになりました。(高知市・26歳)

●高知に来て、初めて行ったところがモネの庭でした。『もりりん』で、木を使った商品をいろいろ紹介してほしいです。(カバンをテレビで見たことがあるけど、驚きでした。)8月がお母さんの誕生日なので、プレゼ

ントしたいです。(四万十町・13歳)

●高知で作られている木製の商品、例えばエコアス馬路村などは、靴ベラ、ペンにネームが入れられることを詳しく載せたりしてはいかがでしょうか?以前にあったらごめんなさい。もっと高知で作られている木製の素敵な品をたくさん教えてほしいです。(高知市・53歳)

●木を使用した、身近な雑貨や介護用品等ができればいいなと思います。スマホケース、ホッチキス、文具系、車椅子、杖、歩行器など、木の温もりを活かした介護用器具も普及すればと思います。(高知市・54歳)

●『もりりん』はいろんな年齢層が幅広く楽しめる構成となっております。我が朝倉総合市民会館は、高知市内でも数少ない児童館併設施設です。通ってくる子ども達も小学校低学年から高学年と守備範囲が広く、またデイサービスなどの利用者も高齢の方が多いので、どの年齢層にも読みやすい『もりりん』は重宝しています。パンフ展示スペースに常備しています。(高知市・59歳)